

# 脱デフレに企業家精神を

日本経済新聞社取締役論説主幹 岡部直明

日本経済は深刻なデフレ危機から抜け出せていません。デフレ化現象は中国経済の台頭や技術革新などグローバル経済の構造問題になりつつありますが、日本のデフレ悪循環は最も深刻で悪質であるといえるでしょう。

## デフレは日本経済の衰退

グローバル現象だから仕方がないと手をこ

PROFILE

おかべな おあき  
岡部直明



日本経済新聞論説主幹

1947年高知県生まれ。69年早稲田大学政治経済学部卒業後、日本経済新聞社入社。東京本社編集局産業部、経済部記者等を経て、83年ブリュッセル特派員、85年ニューヨーク支局長、87年経済部次長、89年金融部次長兼論説委員、91年論説委員兼編集委員、96年論説副主幹兼編集委員、2003年取締役論説主幹（その他の職）早稲田大学大学院公共経営研究科客員教授、財政制度等審議会委員

（著書）『応酬 円ドルの政治力学』（日本経済新聞社刊）、『日本経済 大競争時代への挑戦』（共著、同）、『複合デフレ脱却』（共著、同）、『ゼミナール現代企業入門』（共著、同）ほか

まねいたり、構造デフレを前提に対応するしかないなどとあきらめたりしている場合ではないはずです。このデフレを漫然と受け入れることは日本経済の衰退を意味するからです。

ではどうすれば、このデフレの悪循環から脱却できるのでしょうか。その明確な処方せんを描くことができれば、それこそノーベル経済学賞にも値するでしょう。

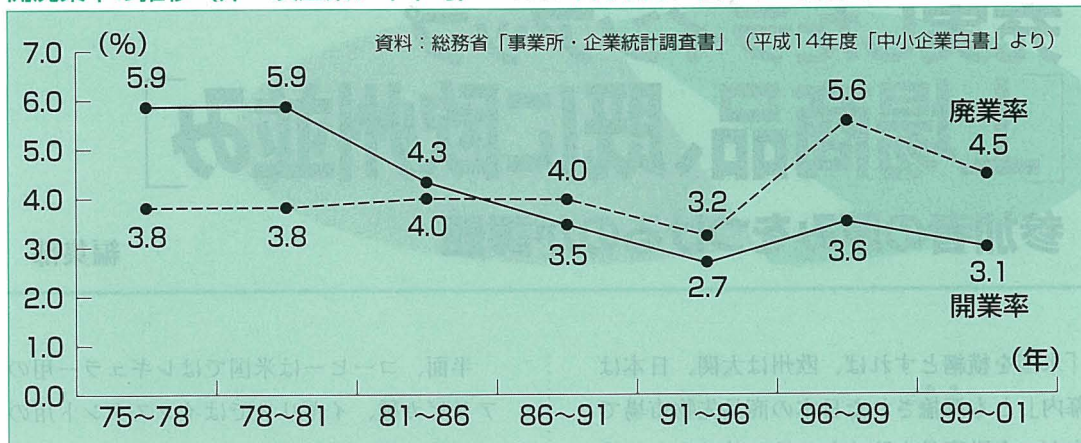
脱デフレの論議はいささか混迷気味です。日本のデフレは需要不足からきているとすれば、やはり大御所のケインズに立ち返るしかないという考え方があります。これに対してスティグリッツ教授のように、デフレ脱却には、ケインズ理論から「債務デフレ論」のフィッシャー理論にスタンスを転換するべきだと主張するノーベル経済学者もいます。

## 「部分均衡」優先は危険

債務デフレ論はたしかに日本のデフレを説明しやすいようです。企業も国も個人もデフレで借金の実質的負担が重くなり、それが経済活動を一層萎縮させ、デフレを深刻化させています。ここにきてフィッシャー理論が持ち上げられる一方で、影が薄くなっているのは「創造的破壊」のシュンペーターでしょう。それは「構造改革なくして成長なし」と繰り返す小泉純一郎政権の経済政策への警鐘になっているようにもみえます。

割を食った形のシュンペーターですが、経済的創造を先導する「企業家精神」はどんな

## 開廃業率の推移（非一次産業、年平均）—1980年代以降、低下する開業率—



経済であれ、経済再生の担い手であるはずで  
す。いうまでもなく、脱デフレには総合戦略  
が求められます。財政・税制改革、規制緩和、  
金融安定化策、それに金融緩和策の相乗効果  
をいかに高めるかが肝心です。目先の財政収  
支の数字合わせをあせったり、税制の手当て  
抜きに不良債権処理を突出させるといった、  
いわゆる「部分均衡」優先は危険です。経済  
全体を見渡した総合的治療こそ必要になって  
きています。

### イノベーションを生み出せ

デフレ脱却に「政府の役割」は極めて重要  
ですが、それだけでは不十分です。いくら政  
府が手厚い政策を打ち出しても、企業の活力  
がよみがえらなくては元も子もないでしょう。  
それは結局、日本経済に重いツケを残すだけ  
です。大事なのは、企業家精神をいかに発揮  
するかであり、「イノベーション（革新）」を  
いかに生み出すかです。  
デフレ下で、企業家精神は十分に発揮され  
たとはいえません。それどころか、廃業率を  
下回る開業率の低下にみられるように、日本  
経済全体に企業の活力がなえてきているよう  
にみえます。

ここで大事なのは、だれが企業家精神を支  
えるかです。リスクを取って新たな分野を切り  
開くには、協力者の存在が欠かせません。森  
嶋通夫教授は「思想としての近代経済学」の  
なかで企業家精神を支える銀行家の役割を  
強調しています。「有能な銀行家なら選択を  
誤らないが、無能な銀行家は誤った選択を行  
って革新をし損じたり、遅らせたりする」と  
いうのです。

### 企業家と銀行家の結合を

企業家精神を支えた銀行家として、森嶋教  
授が例に挙げたのは、1928年当時の松下幸之  
助の大工場建設計画とそれに無条件信用貸で  
応じた銀行家の眼力です。松下青年の能力と  
その将来を見抜いていたのです。「ただもの  
でない企業者と本物を見抜く眼力のある銀行  
家が、シュンペーターの資本主義の正副操縦  
士である」と教授は指摘しています。  
貸し渋りが横行するなかで、本物の企業家  
と眼力ある銀行家の結合が生まれるかどうか、  
なお不安はつきまといますが、悲観的にはか  
りなうてはいられません。デフレ克服の目標  
を最終的に達成できるかどうかは、企業家精  
神の発揮にかかっているからです。